

平成 2 4 年千葉市教育委員会会議
第 8 回定例会会議録

千葉市教育委員会

平成24年千葉市教育委員会会議第8回定例会会議録

日時 平成24年8月22日（水）

午後2時00分開会

午後2時50分閉会

場所 教 育 委 員 会 室

出席委員	委	員	長	内山 英夫
	委		員	和田 麻理
	委		員	篠原ともえ
	委		員	中野 義澄
	教	育	長	志村 修

出席職員	教	育	次	長	小池よね子	教育センター所長	真田	清貴
	教	育	総	務	部	長	沼倉	徹
	学	校	教	育	部	長	野口	洋子
	生	涯	学	習	部	長	杉戸	利一
	総	務	課	長	初芝 勤	中央図書館長	橘	高俊
	企	画	課	長	高須 右一	総務課総括主幹	久我	千晶
	学	校	財	務	課	長	山田	輝夫
	学	校	施	設	課	長	小野	正嗣
	学	事	課	長	佐藤 宏喜	生涯学習振興課主幹	塚越	達雄
	教	職	員	課	長	宇田 英弘	指導課指導主事	山口
	指	導	課	長	大久保良孝	指導課指導主事	篠塚	和仁
	保	健	体	育	課	長	井谷	芳明

書	記	総	務	課	長	補	佐	南	久志	総	務	課	主	査	補	諏	訪	瑞穂	
		総	務	課	委	員	会	係	長	土肥	慶典	総	務	課	主	任	主	事	藤井
		総	務	課	総	務	係	長	渡邊	実									

- 1 開会
内山委員長より開会を宣言
- 2 会議の成立
過半数委員の出席により会議成立
- 3 会議録署名人の指名
内山委員長より篠原委員を指名
- 4 会期の決定
平成24年8月22日（1日間）ということで全委員異議なく決定
- 5 議事日程の決定
議事日程を全委員異議なく決定
- 6 会議録の承認
平成24年第5回及び第6回定例会会議録を全委員異議なく承認
- 7 議事の概要

(1) 報告事項

報告事項(1) 平成24年度「子ども議会」について

指導課長より報告があった。

報告事項(2) 平成24年度全国学力・学習状況調査の結果について

指導課長より報告があった。

報告事項(3) 第65回千葉市中学校総合体育大会の結果について

保健体育課長より報告があった。

(2) 議決事項

議案第34号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る
点検及び評価について

企画課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。

議案第35号 平成25年度千葉市立特別支援学校高等部入学者選考要項に
ついて

指導課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。

(3) 発言の要旨

報告事項(1) 平成24年度「子ども議会」について

内山委員長 指導課長、報告をお願いします。

指導課長 「平成24年度「子ども議会」について」、報告します。

去る7月27日（金）、千葉市議会本会議場にて、子ども議会を開催しました。

子ども議会は、本市の将来を担う子どもたちが、千葉市の現

状と課題について話し合い、市民一人ひとりが、いきいきと幸せに暮らせるまちづくりに向けた具体的な提案・質問を行う中で、千葉市民としての意識を高められるようにすることを目的としてスタートし、3年目を迎えました。

当日は、市長、両副市長、答弁に関係する局長をはじめ、千葉市議会小川議長、奥井副議長の出席のもと、公募による小学生及び学校から推薦された中学生、55人が参加しました。

内山教育委員長をはじめ、教育委員の皆様には子ども議会当日、また事前学習会にも参加していただき、誠にありがとうございました。

今年は、子どもたちの興味・関心をもとに、8つのグループに分かれ、アンケート調査や実地調査等をもとに、行政に積極的に取り組んでほしいことや、自分たちができること、果たすべき役割について考え、提案・質問を行いました。

また、子ども議会議員の提案・質問に対する市長・副市長、関係局長等の答弁には、わかりやすい説明と励ましの言葉が織り込まれ、参加した子どもたちも、充実感を味わえたことと思います。

今回は、答弁に対して子ども議会議員が再度質問したり意見を述べたりする機会も設けましたが、提案・質問の時間の関係で十分な意見交換ができなかったことは、今後の課題です。

市長からは、1つ目に、子ども議会での参考にすべき提案は市政に反映させていく、2つ目に、提案するだけでなく自ら実践していくことが大切、積極的に行動して自分の街を身近に感じてほしい、3つ目に、自分の立場から意見を伝えていくことがこれからのまちづくりにつながるといった講評がありました。

今後は、子ども議会での提案・質問と、答弁の内容を整理し、子ども議会議員の事後のレポートも踏まえて報告書を作成し、各学校に配布することにより、子どもたちの発想と意欲を生かした主体的な取り組みを促すようにしていきたいと考えています。

子ども議会議員の感想として、「みんなが考えたこと、発言したこと、それで自分でできることを積極的に行っていきたい」「学校や地域で呼びかけていきたい」「子ども議会で提案するために、校長先生やPTA会長と意見交換することができた」「グループでの話し合いを通して、関心を持っていること

について他の見方ができたり、より詳しく知ったりすることができた」などの感想があり、子どもたちにとって本当に充実した活動になっていたことが窺えます。

来年度については、この3年間の成果と課題を踏まえ、子どもたちがより輝く場となるよう、検討してまいります。

和田委員 今、お話にありましたが、子ども議員それぞれが非常によく勉強して、当日も、議場で全く臆することなく堂々と発表していた姿には感激しました。

それから、やはり市長との意見交換の時間がとても印象に残りました。市長も、子ども相手ではなく、本当に一市民として答えていたことが、子どもたちにとってとても良かったのではないかと思います。

ぜひ来年度からも、この時間がしっかり確保できるような工夫をお願いできればと思います。

また、事前学習会も何度か拝見しましたが、初めのうちは、子どもたちから破天荒とも言えるような良いアイデアが出てくるのですが、いろいろ勉強したり、研究をしていくうちに、やはりこれはだめなんだろうという、大人と同じような考えに近づいてしまって、最終的に当日発表する文章を作る段階では、良い意味でも悪い意味でも、小ぢんまりとまとまってしまった印象がありました。

非常に難しいことだと思いますが、最初にあった大人には考えつかないようなアイデアを、もっと伸ばしていけるようなご指導を、来年度以降もお願いできればと思います。

それからもう一点、今回、中学生がファシリテーターという形で、1つのグループに1人か2人程度入っていたと思いますが、どうしても中学生が小学生の意見をまとめていくようになってしまっていたので、例えば、小学生と中学生が半々になるようなグループ構成にして、中学生のアイデアを受けて小学生が成長していくような、刺激を受けるような形があっても面白いのではないかと思います。

小学生というのは、1年生から6年生まで6年間、同じ学校で学びますが、小学校の高学年が中学生と触れ合う機会というのはなかなかないと思うので、そのような機会も今後、念頭に置いていただければと感じました。

中野委員 同じような感想になってしまいましたが、1つは市長とのフリ

ートークの時間を増やす面からいっても、テーマをもう少し絞ってみたいかがでしょうか。

仕方がないと思いますが、これだけテーマがあると、どうしても内容的に重なってしまう部分もあると思いますので、もう少し内容を整理できれば、意見交換をする時間がとれるのではないかと思います。

また、議会運営委員を務めた生徒たちは、さすがに言葉もきれいではっきりしていて、ちょっと違うなと感じました。

子ども議会は、大事な教育の場のひとつだと思いますので、今、和田委員からもあった意見などを踏まえながら、ぜひ来年も素晴らしい会にしていきたいと思います。

内山委員長 私も参加させていただきましたが、子どもたちもよく勉強していたと思いますし、先生方の指導もよかったと思いますので、また立派な会にしていきたいと思います。

篠原委員 傍聴者数が80人ということで、保護者の方たちが多かったのかと思いますが、一般の方の傍聴人数は分かりますか。

指導課長 統計はとっていませんが、傍聴は保護者やその家族のほか、学校長や市議会議員などにも来ていただきました。特に、一般の方というのはいなかったと思います。

篠原委員 子どもたちがとても上手に発表していたので、一般の傍聴者の方たちにもぜひ見てもらいたいと思います。

報告事項(2) 平成24年度全国学力・学習状況調査の結果について

内山委員長 指導課長、報告をお願いします。

指導課長 「平成24年度全国学力・学習状況調査の結果について」、報告します。

本調査は、教育機会の均等や学力水準の維持向上の観点から、平成19年度より実施されており、22年度からは抽出調査となりました。

23年度は東日本大震災のため中止されましたが、本年度は4月17日に、22年度と同様、抽出調査により実施しました。

本市では、小・中学校合わせて、約2割の学校が対象となりました。

調査内容ですが、これまでの国語、算数・数学のほか、新たに理科を加えた3教科について、主として知識に関するA問題、主として活用に関するB問題及び質問紙調査を行いました。

結果については、8月8日、文部科学省より、全国及び各都

道府県の状況について発表されました。

なお、本市の結果については、文部科学省の実施要項の取り扱いに関する方針を受け、一般に公開しないこととしています。

次に、本市の抽出校における調査結果について、その特徴の概要を説明します。

まず、教科に関する調査結果ですが、中学校理科A問題を除き、小・中学校とも全国及び県の平均正答率の95%信頼区間と同様、あるいはそれを上回る位置にあります。

中学校理科A問題については、生物領域で全国の平均正答率の95%信頼区間をやや下回る傾向にありますが、千葉県の平均正答率の95%信頼区間には位置しております。

次に、質問紙調査についてですが、概ね前回と同様の傾向となっております。

特に児童生徒質問紙調査では、新聞やテレビのニュースへの関心、学級の話し合いによる決まりごとの決定の割合が全国より高く、逆に、地域行事への参加、家族と夕食をともにする割合が全国を下回っております。

また、学校質問紙調査では、博物館や科学館、図書館の授業での活用、PTAや地域の人の学校へのボランティアの協力の割合が全国より高くなっております。

教育委員会としては、希望利用校を含め、各学校が指導改善のために十分に調査結果を活用することができるよう、計画訪問等の機会をとらえ、わかる授業を一層推進し、児童生徒一人ひとりの確かな学力の育成を図るため、指導、助言を行っていきたいと考えています。

和田委員 詳しい分析等はこれからかもしれませんが、中学校理科A問題が全国平均をやや下回るという傾向について、本市の理科教育なども含めて、現状で原因と考えられるようなことはありますか。

指導課長 分析等はこれから行いますが、詳しくは担当から説明します。

篠塚指導主事 細かい分析についてはこれから行いますが、中学校理科A問題のうち、主に生物領域の部分が低くなっており、問題を深読みしたのかとも考えられますが、いずれにしても、知識、理解の面について、さらに指導を改善していくよう、各担当へは指導、助言をしていきたいと考えています。

和田委員 わかりました。よろしくお願いします。

もう一点ですが、この質問紙調査も、全国に同じ設問で配られているということで、地域性が反映される結果になると思いますが、前回と今回で同じような傾向を示したものが多いという結果に対して、何か手立てを講じたり、今後どのように対応していくかなどのお考えがありましたら、教えてください。

指導課長 地域行事への参加や、家族と夕食を共にする割合がやや下回っていますが、これは核家族化という都市部の傾向があるため改善は難しいと思いますが、地域行事への参加等については、例えば社会科の指導の教科書の中に地域のお祭りというのを載せて、地域になるべく参加するというような呼びかけも行っていますので、地域との関わりや行事に参加することの大切さなどを、これからも訴えていければと思っています。

和田委員 地域の行事という言い方もすごく難しいと思います。

子どもによって、お祭りをイメージするのか、それとも地域の青少年育成団体などが開催している事業に参加することをイメージするのかによって回答も変わってくると思います。

いずれにしても、子どもたちが、地域に出ているという気持ちを持てるようになれば、郷土感やふるさと感にもつながると思いますので、今後ともご指導をよろしくお願いします。

内山委員長 確かに、子どもたちの地域への取り組みはちょっと弱いかもしれませんが、地域の方に頑張っていたかできないことだと思います。私も地域でいろいろやっていますので、頑張っていきたいと思います。

報告事項(3) 第65回千葉市中学校総合体育大会の結果について

内山委員長 保健体育課長、報告をお願いします。

保健体育課長 「第65回千葉市中学校総合体育大会の結果について」、報告します。

7月21日から26日の6日間にわたり開催しました市の総合体育大会は、概ね天候にも恵まれ、大きな事故等もなく、無事終了することができました。

また、教育長、学校教育部長に各会場を視察していただきました。

次に、県の総合体育大会ですが、7月26日から7月31日まで、さらにその上の大会となる関東大会は8月5日から8月11日までの日程で開催されました。

関東大会のハンドボールについては千葉ポートアリーナで、

体操競技については千葉県総合スポーツセンターの体育館で開催されました。

次に、全国大会については、8月17日から8月24日までの期間、関東ブロックで開催しております。

このうち陸上競技については、8月19日から22日まで、千葉県総合スポーツセンター陸上競技場で開催しております。

なお、この全国中学校の陸上大会については、市内の中学生約80名が補助役員として、式典運営、競技運営等に携わっております。

市・県総体、関東大会の結果、全国大会への出場等につきましては、お手元の資料にまとめてございます。

団体種目ですが、市総体においては、水泳競技総合及び男子で渋谷幕張中学校、体操競技男子で小中台中学校、体操競技女子で草野中学校、ハンドボール女子で花園中学校が3年連続優勝を果たし、永久杯を獲得しております。

県総体では、卓球男子で千城台南中学校、ハンドボール女子で花園中学校、剣道男子で幕張本郷中学校が優勝しました。

次に、関東大会の団体・個人の成績を報告します。

団体種目では、卓球男子で千城台南中学校が準優勝、剣道男子で幕張本郷中学校が第3位で、全国大会に出場しております。

個人種目では、陸上競技の共通200メートル男子で●●中学校の●●●●さんが第3位、2年100メートル女子で●●●●中学校の●●●●さんが第7位に入りました。

また、新体操の個人総合で●●中学校の●●●●さんが第3位、卓球シングルス女子で●●●●中学校の●●●●さんが優勝、柔道90キロ級男子で●●●●中学校の●●●●さんがベスト8に入り、それぞれ全国大会出場を果たしました。

全国大会には、団体2種目15人と個人6種目17人の、計32人が出場しております。

なお、新体操個人総合で昨年度全国優勝した●●中学校の●●●●さんですが、今年度も全国大会に出場し、個人総合及び種目別リボンで優勝したという報告を昨日、受けました。

また、昨年度卓球で全国3位の●●●●中学校の●●●●さんも全国大会に出場していますので、その活躍の結果が大いに期待されるところです。

全国大会は現在開催中ですので、全ての結果については、9

月の定例会で報告させていただきます。

議案第34号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検及び評価について

内山委員長 企画課長、説明をお願いします。

企画課長 「教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検及び評価について」、説明します。

千葉市教育委員会事務点検・評価報告書の主な見直し部分についてですが、これまでいただいた意見の中では、読書手帳などへの記録が励みとなる、本に触れる機会をもっと増やしてほしい、また、算数数学に興味、関心を持たせるなどの対応を記述してほしいというものがありました。

これについて、各教科等においても調査研究などの学習を通じて読書活動の充実を図り、読書の幅を広げることが今後一層大切になります。また、理科教育においては、少人数指導教員や理科支援員の配置は、理科・数学離れの対応として大きな効果を上げています。さらに算数数学への児童生徒の興味・関心の向上を図るために、指導の重点化、指導方法の工夫・改善を行うことが今後重要であることから、本文中に課題と今後の方向性を加えました。

また、情報モラル教育についてですが、カリキュラムを実践していない学校が3割ほどあることについて、追加説明を加えました。

情報モラルに関する指導は、児童生徒の発達段階に応じた学習項目に位置づけられており、すべての学校が取り組みを進めていますが、千葉市独自の情報モラルカリキュラムについては、関連資料を系統的に配分した内容がイントラネット上で活用できるようになっていることから、各学校でのさらなる指導の充実を目指していくということで、追加説明を加えております。

ここで、3点ほど訂正をお願いしたいのですが、学校図書館機能の整備・充実の中の団体貸出用資料の貸出冊数ですが、23年度達成値を20,891冊から23,094冊に、24年度目標値を21,500冊から23,500冊に、また、27年度の目標値を23,000冊から25,000冊に訂正をお願いします。

続いて、道徳教育の充実の中の項目ですが、人が困っているときに進んで助けていると回答する生徒の割合の23年度達成

値が未実施になっていることについて、理由を記載してほしいという意見がございました。これについては、東日本大震災のため、平成23年度は全国学力・学習状況調査及び質問紙調査が実施されなかったことを補足しました。

次に、いじめ等の問題行動への対応ですが、主な事業として、不登校やいじめに関する教育相談の実施、ネット上のいじめへの対応、生徒指導特別対策委員会、生徒指導調査研究委員会の設置などについて、説明を加えました。

また、食育の推進について、和食の摂取状況など調査項目に入れていければよいのではないかと、給食の残菜量など把握しているとのことであるが、それをどう減少改善するかというご意見もいただいておりますが、そちらについては、次年度以降の達成指標の見直し時に検討していきます。

次に、体験活動を通じた社会性の伸長ですが、長柄ハッピーキャンプへ参加後に見られた良い変容とはどういう調査から言えるのか、参加数等とは違い数値は質的なものなので脚注などで説明を加えてほしいというご意見については、参加者全員の生活上の自立や対人関係、社会性等に関する内容について、本人や保護者に対し行った事前・事後のアンケート結果や児童の学校生活の様子等から、明らかな改善が見られると担任や担当指導主事が判断した児童の割合という説明を加えました。

続いて、地震発生時の対応についてですが、防犯訓練だけでなく、防災訓練等の状況についての項目を今後追加してはどうかというご意見については、各学校がそれぞれの防災計画に従い、毎年2～3回程度実施してきた防災訓練の中で、児童生徒の安全確保を第一に対応することができたことから、訓練の実施状況について記述を加えました。

説明は以上です。

内山委員長 評価委員の意見について、少し関心を持ったことについて触れてみたいと思います。

まず、教職員のモラル向上について、管理職や教育委員会による指導だけではなく、教員が相互に注意し合える環境作りについても考えていかなければならないという意見がありましたので、検討していただきたいと思います。

次に、事業点検・評価の方法について、項目や分析方法を全国調査に合わせて設定し、比較できるようにすることが望まし

いという意見がありました。これについて、千葉市は相当先進的な試みを行っていると思います。

それから、目標値の設定基準の根拠を明確にし、目標値の軌道修正を行うためのルールを作ることも必要であるという意見がありました。これもいろいろ難しい点があると思います。

続いて、公民館等の生涯学習施設についてですが、地域の情報拠点として、あるいは世代を超えたつながりの場として、公民館の持つ意義は高く、地域の人々が気軽に立ち寄れる場としての誘因の特定や工夫が一層求められると思われるという意見がありました。これも、今後の検討に盛り込んでいただきたいと思います。

それからもう一つ、特にいじめの問題等を含めて感じましたが、ほとんどの項目でパーセント表示になっています。

例えば、平成23年度の小学生の不登校割合が0.31%で、一見すると非常に低い数字ですが、これを人数に直すと約160人になり、千葉市の小学生全体で160人の不登校児童がいるということになります。

また、中学生ではその割合が約10倍になり、600人を超える人数が不登校ということになると思います。

こういった絶対数についても認識しておいた方がいいと思います。

全体的に、よくまとめてもらったと思いますが、今後とも引き続きよろしくお願いします。

議案第35号 平成25年度千葉市立特別支援学校高等部入学者選考要項について

内山委員長 指導課長、説明をお願いします。

指導課長 「平成25年度千葉市立特別支援学校高等部入学者選考要項について」、説明します。

今年度の特別支援学校高等部入学者の募集及び選考要項については、県との協議により、県と同一の歩調で進めていくことになりました。

本要項は、千葉市立養護学校高等部普通科と、千葉市立高等特別支援学校普通科（職業コース）が対象校となります。

まず応募資格についてですが、両校とも知的障害を有し、療育手帳もしくは医師の診断を有すること。高等特別支援学校については、これに自力通学が可能な者を加え、知的障害の軽度

な生徒に対する学校としての特色を明確にいたしました。

次に通学区域についてですが、千葉市立養護学校高等部普通科は、中央区、若葉区、緑区、稲毛区の一部に居住または入学までに住所を有する者としてしました。また、千葉市立高等特別支援学校普通科（職業コース）は、市内に在住または入学までに住所を有する者としてしました。

続いて、千葉市立養護学校高等部普通科の入学者選考要項について説明します。

通学区域については、先ほど説明したとおりです。

入学定員については、特に定めません。

出願については、平成24年12月20日までに、千葉市立養護学校で進路に係る教育相談及び体験実習を必ず行うこととします。

入学候補者の選考はこれまでどおり、検査、面接等を行い、総合的に審査いたします。日程は平成25年2月13日（水）及び14日（木）のいずれか1日としてしました。

次に、千葉市立高等特別支援学校普通科（職業コース）の入学者選考要項について説明します。

通学区域につきましては、先ほど説明したとおりです。

入学定員については、第1学年の32名とします。

出願については、平成24年11月30日までに、千葉市立高等特別支援学校開設準備室による進路に係る事前の教育相談を行うこととします。

入学候補者の選考は、入学者選考日を平成25年1月16日（水）及び17日（木）とし、千葉市立真砂第二小学校跡施設を会場にして行います。選考方法は、作業能力検査、学力検査、運動能力検査、面接等を行い、総合的に審査します。なお、選考日は県と同一の日とし、選考方法の検査内容も県と同一の問題、内容として入学者選考を行います。

また、入学許可候補者数が発表時に定員に満たなかった場合、第2次募集を行います。

入学許可候補者とならなかった者が他の高等部普通科（職業コースを除く）を志願する場合の手続きと日程については、資料をご覧ください。

説明は以上です。

篠原委員 初めてこういう情報を見させていただきましたが、高等特別支

援学校が開校されるということで、とても関心が高いと思います。

出願について、事前の教育相談が平成24年11月30日までとなっていますが、いつから開始しているんですか？

高等特別支援学校開設準備室長 教育相談については、7月末から夏の相談会を実施しており、秋にも相談会を予定しております。今後、11月30日まで随時、実施していく予定です。

和田委員 今の質問に関連しますが、高等特別支援学校が開校されるということで、かなり問い合わせもあるかと思いますが、市民、保護者、それから生徒となる子どもたちの反応など、これまでの説明会等で何かあれば教えてください。

指導課長 美浜区で開催した地元説明会に参加しましたが、地元の方が多数集まり、非常にいいお言葉をいただきました。

中には、実習用の畑を手伝いたいとか、作業を手伝わせてほしいというようなご意見もいただき、開校に向けて、皆様の期待や協力したいという気持ちをととても感じました。

高等特別支援学校開設準備室長 続いて学校説明会ですが、中学3年生の生徒、それから保護者の方のうち希望される方を対象に、6月28日、養護教育センターで開催しました。

参加者は125人、七十数世帯の参加で、保護者からは、教育課程や入学選考について積極的な質問があり、また、生徒からは、特に部活についての質問などがあり、関心の高さが窺われました。

また、この参加者のほとんどが、先ほど申し上げた夏の相談会に参加しています。

このほか、8月1日号の市政だよりにも案内を掲載しましたので、いくつかの問い合わせが来ているという状況です。

和田委員 初めての学校ということで、やはり皆さんの期待や関心が高いと思います。いろいろ大変かと思いますが、今後とも引き続きよろしくお願いします。

8 その他

(1)美浜区の学校プールの開放に係る周知について、篠原委員より意見があった。

篠原委員 7月の定例会で美浜区のプール開放についての報告がありましたが、結構知らない方が多いようで、利用者が少ないとプール開放なくなってしまうのではないかという不安の声を聞きましたので、ぜひ来年も開放していただきたいということをお願い

いします。

もちろん、学校教育に支障のない範囲でお願いしたいのですが、周知の仕方を考えていただければと思います。よろしくお願いいたします。

(2) 教育センター研修講座「心を育てる読書教育」の参加について、和田委員より報告があった。

和田委員 8月10日、教育センターで、先生方を対象とした専門研修講座「心を育てる読書教育」を拝見させていただきました。

夏休みにもかかわらず、市内から150人近くの先生が集まり、とても熱心に研修を受けている姿が印象的でした。

初めて先生方の研修を拝見しましたが、研究指定校になった学校は、そのテーマに対して学校全体で取り組んでいけると思いますが、研修に参加した先生方が、学校に戻ってから、その研修をどのように生かしていけるのか、また、その仕組みはどのようなになっているのかという疑問を感じました。

例えば、その学校の中で研修を受けた先生が1人しかいない場合、その内容を他の先生方に伝える機会や手立てというのは難しいのではないかと思います。いくら自分が勉強したことを他の先生に伝えようとしても、なかなかそのチャンスも少ないと思いますし、影響力もそれほど大きくないのではないかと危惧することもあります。

以前、教育センターの研究報告会を聞いた際にも思いましたが、研修の内容を後から文章で見るというだけではなく、実際にその話を聞いたり、DVDや動画配信などの映像で見ることができるようになれば、参加していない方も含めたより多くの先生方に、大きな影響力を持って成果が還元されるのではないかと思います。

やはり研究指定校になった学校は、その目的に対し、本当に一丸となって、全ての先生が協力しているような力を感じたので、ぜひそれを市内の全ての先生方にも享受していただきたいと思いました。よろしくお願いいたします。

指導課長 貴重なご意見、ありがとうございます。

現在、文部科学省や教育センター等での研修に参加した方は、学校に持ち帰り、プリント等にして必ず現場に生かすというやり方を試みているところが多いと思いますので、こちらからも引き続き指導していきたいと思います。

(3)市長と教育委員との懇談会の参加について、和田委員及び内山委員長より報告があった。

和田委員 8月20日、市長との懇談会に参加しました。大変貴重な機会をセッティングしていただき、感謝申し上げます。

2月に続いて2度目ということで、前回より深いお話もでき、とても楽しいひと時を過ごさせていただきました。

教育に対する基本的な考え方の意見交換ができたことで有意義だったと思いますが、私が考えている教育に対する理念や方針といったものが、市長のお考えになっていることと全くと言っていいほど同じことが多く、これからも安心して教育委員としての責務を果たしていけると思いました。

皆様お忙しいとは思いますが、非常に有意義だったので、今後もぜひ継続していただければと思います。貴重な機会を与えていただき、ありがとうございました。

内山委員長 市長もお忙しいと思いますので、機会をつくるのも大変だと思いますが、これからも折を見て会を設けていただきたいと思っています。ありがとうございました。

(4)次回第9回定例会は、事務局において日程を調整の上、開催日時を決定することとした。

9 閉会

内山委員長より閉会を宣言